

危険度マップ

(建物全壊率)

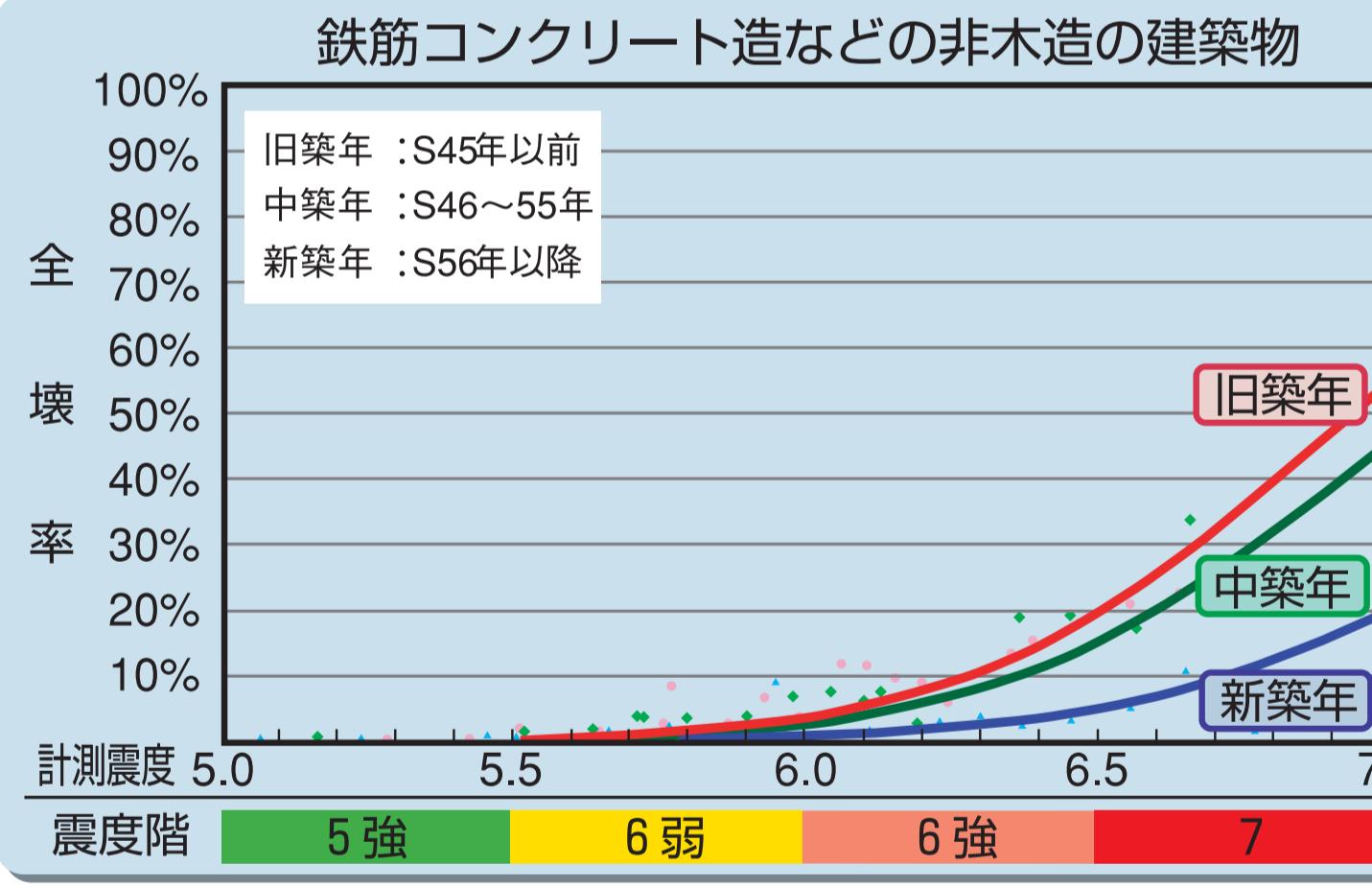
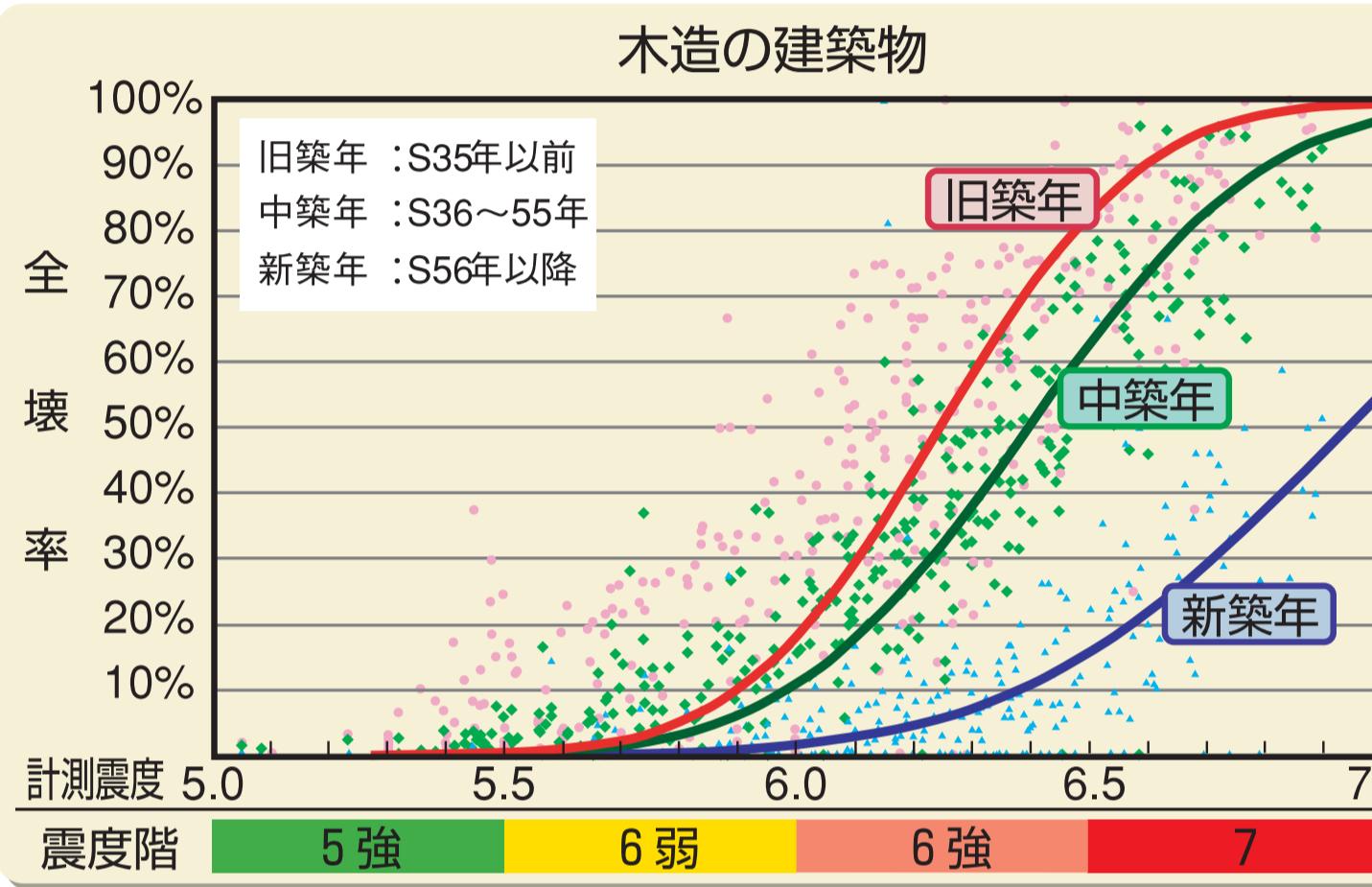
危険度マップ利用にあたり…

この「危険度マップ」は、表面の揺れやすさマップに示す地震が発生した場合に予想される、全壊する建物の割合を指標にして地域の危険度を約50m四方のメッシュ毎に表したもので。このマップをご覧になって、自分の家やよく行くところを確認し、我が家の耐震性について考えてみてください。

揺れと倒壊率

震度と建物の倒壊率の関係

建物の倒壊は揺れの大きさだけでなく、建物の構造・建築年次によって大きく異なります。下図は、阪神・淡路大震災など最近の地震時の全壊実態調査から、揺れの大きさと全壊被害の関係を構造・建築年次毎に表したもので。



家族間や知人間の安否の確認などの連絡に活用できます。

NTT災害用伝言ダイヤル ①⑦①

ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

■利用可能な端末
NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS
■蓄積伝言数
1電話番号あたり1~10伝言

■録音時間
1伝言30秒以内
■伝言保存期間
2日間(48時間:自動消去)

伝言の録音方法
市外局番からダイヤルしてください。
1 ⑦ 1 → 1 → (× × × ×) × × - × × × ×
ガイダンスが流れます
被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

伝言の再生方法
市外局番からダイヤルしてください。
1 ⑦ 1 → 2 → (× × × ×) × × - × × × ×
ガイダンスが流れます
被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を



八百津町の危険度

危険度は、表面の揺れやすさマップに示す揺れと、平成19年1月時点の字毎の建物状況を用いて算出しています。危険度の高い地区は、予想される揺れが大きくかつ古い建物の比率が大きいため、地区内で倒壊する建物の割合が高い地区です。

八百津町の危険度は、木曽川沿いや谷あいの低地部で、大きな揺れが予想される地区で高くなっています。町全域では最大で6%の全壊率が予想されます。

わが家の耐震チェック

- ◆建てたのはいつ頃ですか?
昭和55年以前の旧耐震基準で建てられた家屋は耐震性が低いとされています。
- ◆建物はどのような形ですか?
2階が1階より張り出している、複数の建物が複雑な形になってしまっている。
- ◆壁の配置はバランスがとられていますか?
壁の少ない家や開口部の大きい家は、地震時に倒壊の危険性が高いです。
- ◆どのような基礎ですか?
玉石基礎では、玉石に柱を束立てただけで固定されていません。
- ◆傷んだところはありませんか?
腐っていたり、シロアリの被害が発生していませんか。

八百津町の耐震診断・耐震改修補助

※耐震性的の判断には建築の専門知識が要求されます。

八百津町では、住民のみなさまの大切な命を守るために下記補助事業を行っています。大切なご家族の命を守るために、耐震診断を受けましょう。また、耐震性が低いと診断された場合は、耐震改修を行いましょう。

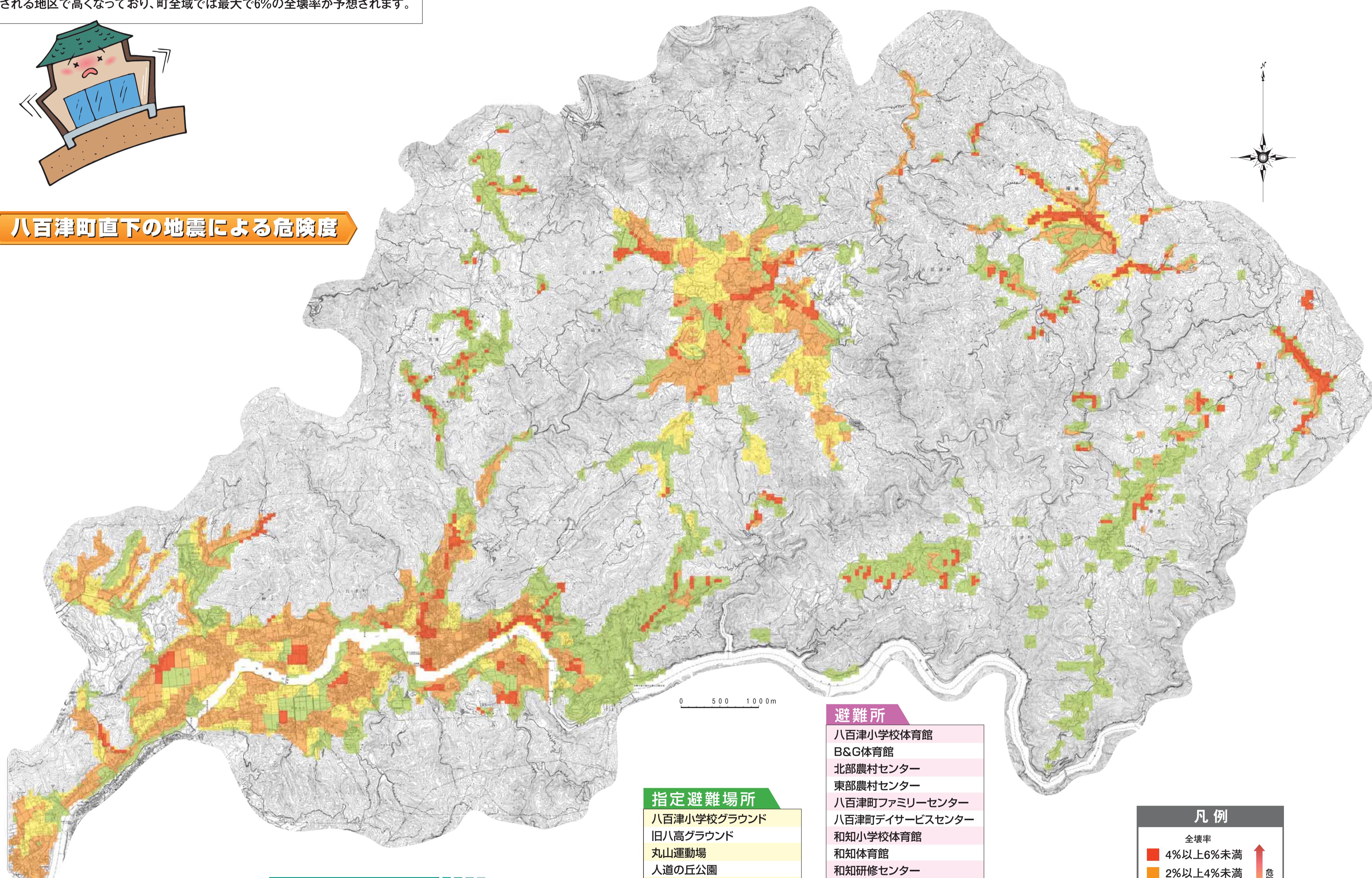
◆木造住宅耐震診断補助

◆木造住宅耐震改修補助

▶ その他の補助事業についても、八百津町役場建設課建築係までお問い合わせください。



八百津町直下の地震による危険度



避難場所の確認

- 指定避難場所や近くの避難所を現地に行って自分の目で確認しておきましょう。
- 安全に避難所に行くことができるか、経路を確認しておきましょう。
- 建物の倒壊やかけ崩れなどにより道が遮れない場合も想定して、複数の経路を考えておきましょう。
- 勤務先近くの避難所などを調べておきましょう。

危険が想定される場所

崖崩れの起きやすい場所、堤防、上から物が落ちてくる可能性がある道路(屋外広告物等)、ブロック塀・自動販売機の近く